

令和 4 年 2 月

菊原美緒 学位論文審査要旨

主 査 松 浦 治 代
副主査 前 垣 義 弘
同 花 木 啓 一

主論文

The process by which mothers of children with special healthcare needs evolve their connections with the community

(医療的ケア児の母親がコミュニティとの繋がりを進化させるプロセス)

(著者：菊原美緒、平上久美子、玉崎章子、前垣義弘、花木啓一)

令和3年 Nursing & Health Sciences 23巻 957頁～966頁

参考論文

1. 地域で生活する障がいを持つ人々との当事者参加型教育を実施して—看護学生が療養される人々の暮らしとケアを理解するために—

(著者：仲野真由美、土居裕美子、中川康江、伊藤順子、菊原美緒)

平成29年 鳥取看護大学・鳥取短期大学研究紀要 第74号 29頁～38頁

審査結果の要旨

本研究は、家庭で医療的ケア児を養育する母親たちが、より良い養育と自己実現を目指して地域との繋がりを進化・発展させていくプロセスを、修正版グランデッド・セオリー・アプローチを用いて分析したものである。その結果、医療的ケア児の母親が構築した地域ソーシャルキャピタルとの繋がりの構造は、①閉じこもり期、②客観期、③地域との協同期、④自己実現期の4つの段階に分かれることが明らかとなり、それらは移行理論の概念枠組みと符合することが示された。本論文の内容は、小児の在宅療養の分野で、対象者と地域ソーシャルキャピタルとの繋がりの構造の特徴を新たに提示したものであり、その繋がり構造の概念を導入することにより、母親や家族への効果的支援方法の確立に道を開くものであることから、明らかに学術水準を高めたものと認める。